

音楽の授業で使える！

カ	ト	カ	ト	ー	ン
ガ	イ	ド	ブ	ツ	ク
			導	入	編

- カトカトーンの使い方といえば、まずはコレ！
- アプリの操作方法をシンプルに解説！
- Google Classroom での ktk ファイルの共有方法も解説！

©KYOKU-GEIJUTSU SHA CO., LTD.







新しく音楽をつくる



ファイルを開く

最近つくった曲を開く



使い方・資料

利用規約

[プライバシーポリシー](#)

協力会社：株式会社ディレクションズ / 株式会社コルグ / 有限会社泰地

「カトカトーン」は、教育現場で活用できる音楽 Web アプリケーションです。

ChromeOS、iPadOS、Windows でも Web ブラウザを通じて全ての機能を無料で使用できるほか、インストールや年度更新も不要で、学校現場での扱いやすさにも配慮しました。

また、教育芸術社発行の音楽教科書に掲載されている曲（一部）のファイルが配布され、視覚的にも分かりやすく曲の構造を分解・分析して理解することもできます。

音楽科における個別最適な学びに対応した質の高い ICT 活用で、新たな音楽体験を実現します。

※「カトカトーン」は、音符の俗称である「おたまじゃくし」の古語「蝌蚪^{かとと}」をモチーフにした造語で、株式会社 教育芸術社の登録商標です。

- 音楽制作ができる、無料の Web アプリケーション
- 楽しく感覚的に操作できる、初心者でも分かりやすく安心な設計
- 高音質なサウンドで豊かな音楽体験ができる、ハイクオリティな仕様
- 制作した音楽を保存して学習支援ソフトウェアで共有可能

カトカトーン申し込み方法

教育芸術社の Web サイトから申し込み可能です。

アクセス方法は、申し込み時のメールに記載しています。指定の「アクセス URL」に Web ブラウザでアクセスすることで、起動できます。

申し込みはこちら



タップ または 読み取り

本書では、次のように表記を区別しています。

【 】 = タップで操作するボタン

[] / 「 」 = エリアなどの名称

第1章

カトカトーンの操作方法

1	アクセス方法と画面の説明	2
	メイン画面 全体図	4
	ルール画面 全体図	6
	パレット画面 全体図	7
2	基本的な打ち込み方法（旋律）	8
	おたまチョップボタン	9
	小節の増やし方	11
	打ち込む「オトグラフ」の選び方	11
	高い音・低い音の打ち込み方	11
3	基本的な打ち込み方法（ドラム・打楽器）	12
4	保存と書き出し	14
5	ktkファイルを読み込む	15
6	オトグラフに表示する音を設定する	16
7	機能制限	17
8	その他の機能	19
	音の移動ボタン（旋律楽器のみ）	19
	ループ再生	19
	ルールトラック（曲の途中でのルールの変更）	19
	表示サイズの変更	20
	メトロノームボタン	20
	操作をさかのぼる（戻る・進むボタン／履歴ボタン）	21
	ミュートボタン	21
	トラックの並び替え、ルーム表示の切り替え	21
	オトグラフに表示された範囲を試し聴きする	21

第2章

ICTを活用したカトカトーンの利用方法

データの共有	22
教師から子どもへデータを共有する場合	23
子どもから教師へデータを共有する場合	27
端末本体の機能の活用	29

第1章 カトカトーンの操作方法

1 アクセス方法と画面の説明

アクセス方法

「カトカトーン」は、教育現場で活用できる音楽Webアプリケーションです。

アクセス方法は、お申し込み時のメールに記載しています。

指定の「アクセスURL」にWebブラウザでアクセスすることで、起動できます。

タイトル画面

「アクセスURL」を開くと、タイトル画面が表示されます。



カトカトーン申し込み方法

以下の教育芸術社のWebサイトから申し込み可能です。



タップ または 読み取り

起動時にデータの読み込みが行われます（2025年4月現在、約30MB）。通信状況によっては時間がかかることがあります。その場合は、通信環境をご確認いただくか、時間を変えて使用してください。

一度データの読み込みが行われると、通常、2回目以降の起動時には、短い時間で起動することができます。（使用する端末やブラウザのキャッシュの設定により異なります）

音楽制作を最初から行う場合は【新しく音楽をつくる】をタップすると、次の楽器選択画面が開きます。

楽器選択画面

【楽器アイコン】をタップすると、その楽器が選択されます。
画面下の【鍵盤】をタップすると、選択されている楽器やキットの音が鳴ります。

鍵盤やパッドに表示されている「A」～「K」の文字は、PCやタブレットのキーボードに対応しています。例えば「A」をタップするとC4のドが鳴ります。「Z」「X」をタップすると、対応する鍵盤の音域を変更することができます。



- ① カテゴリーボタン
- ② 楽器アイコン 楽器を選択します
- ③ 鍵盤 音が鳴ります
- ④ 決定ボタン

①で「ドラム・打楽器」を選択した画面



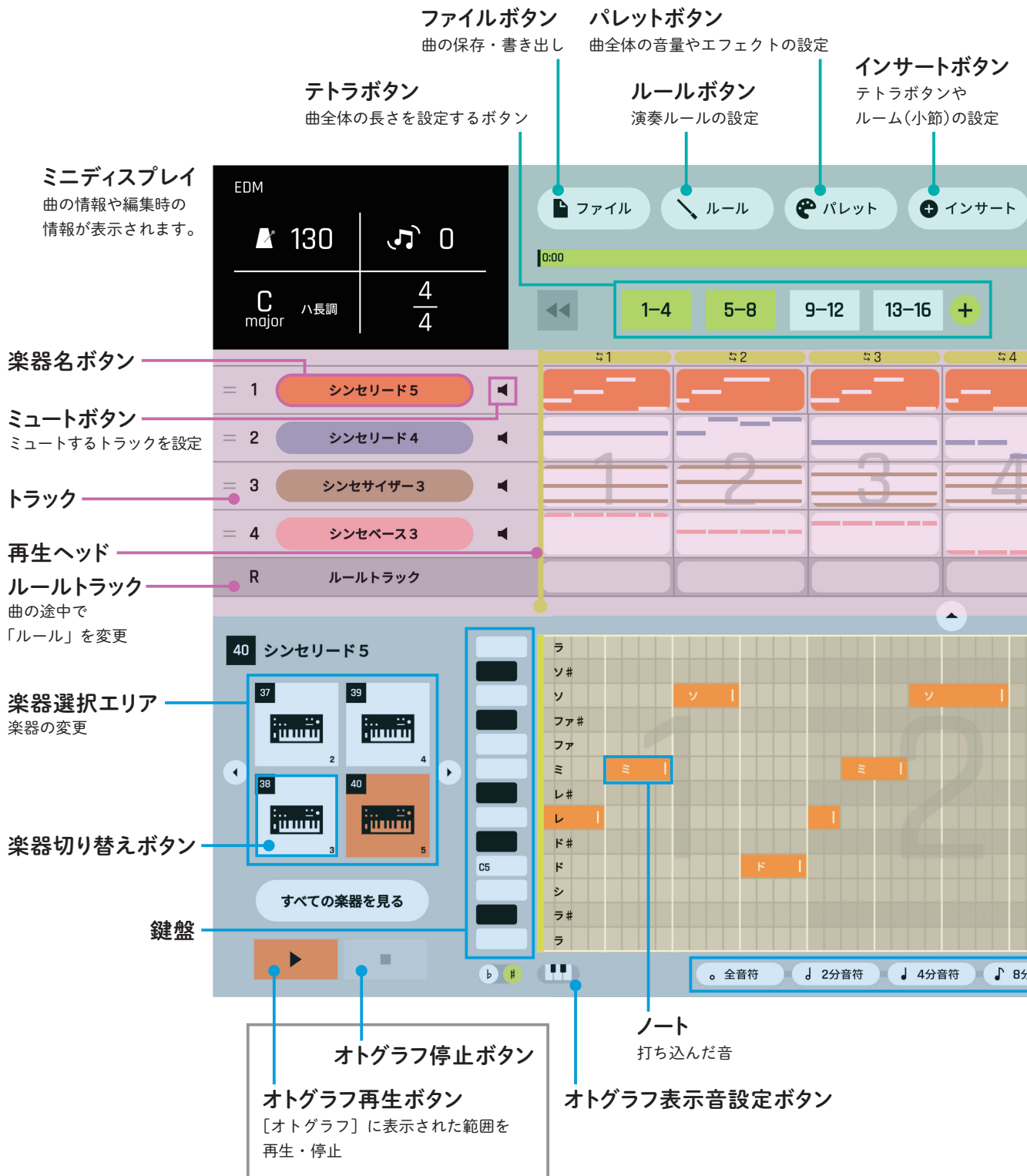
- ⑤ パッド 音が鳴ります

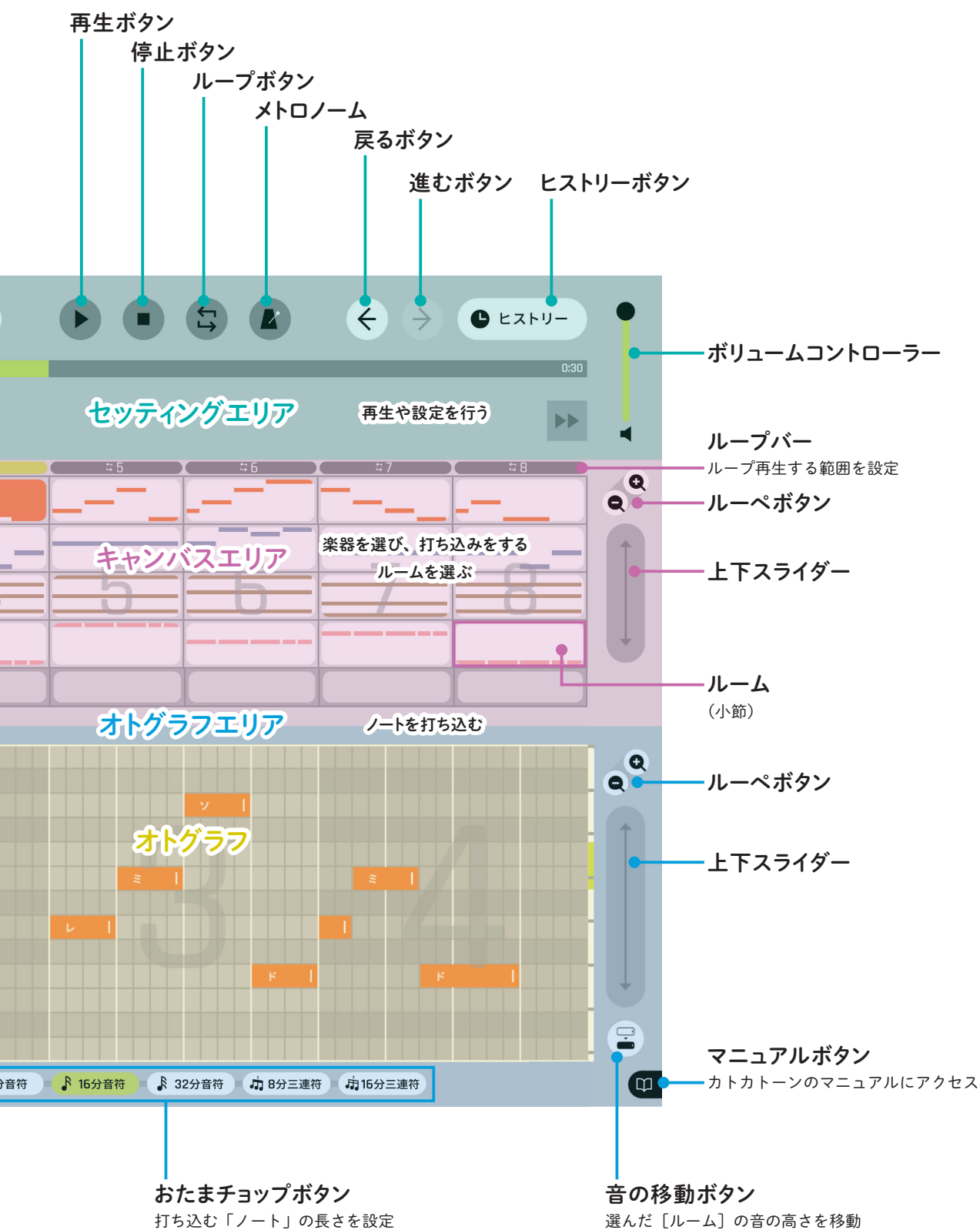
【決定ボタン】をタップすると、楽器が決定され、[メイン画面]に進みます。

カトカトーンでは約140種類の楽器が収録されています。自分のお気に入りの楽器を探してみましょう。

メイン画面 全体図

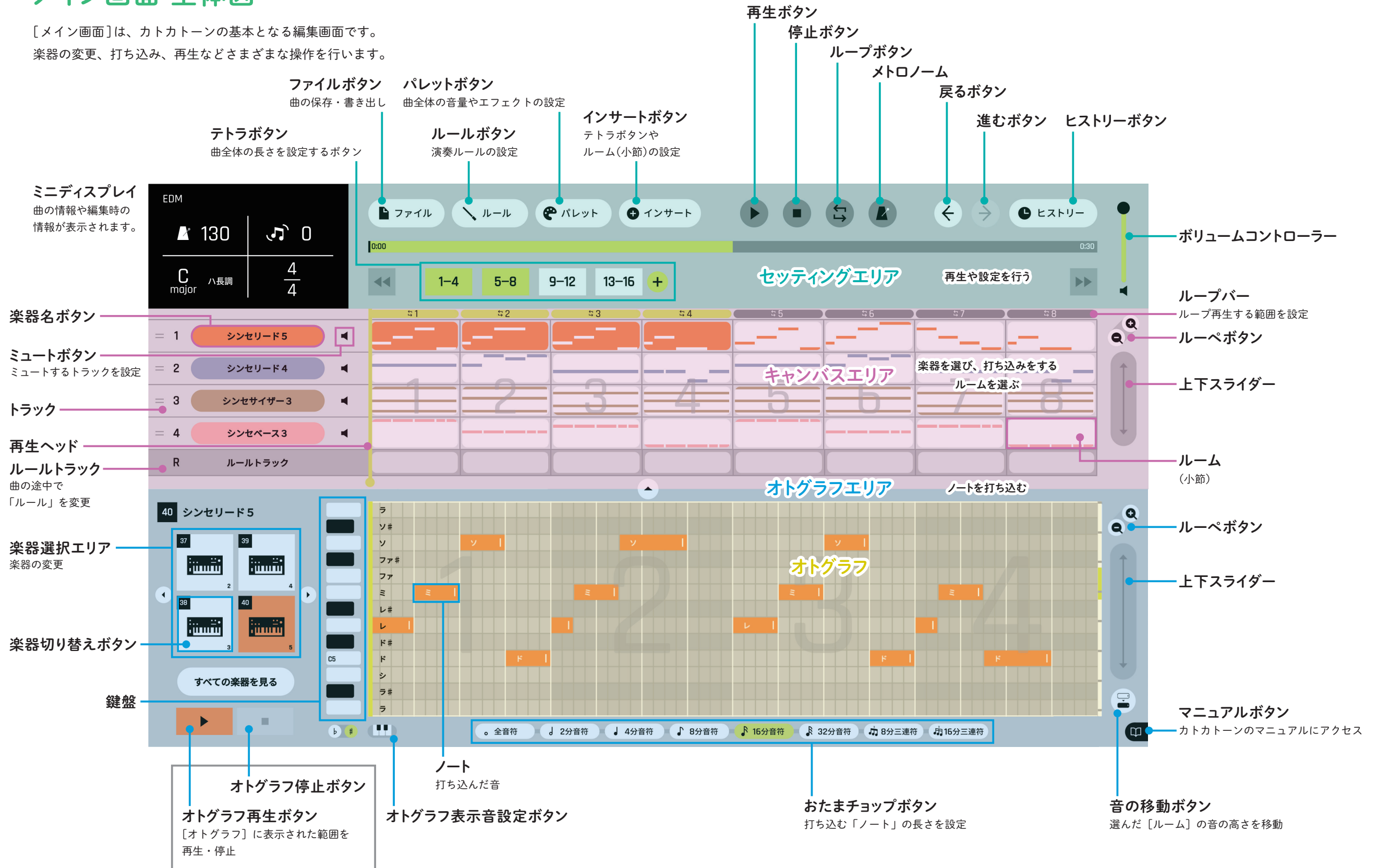
[メイン画面]は、カトカトーンの基本となる編集画面です。
楽器の変更、打ち込み、再生などさまざまな操作を行います。





メイン画面 全体図

[メイン画面]は、カトカトーンの基本となる編集画面です。
楽器の変更、打ち込み、再生などさまざまな操作を行います。



ルール画面 全体図

[ルール画面]では、曲の調、拍子、BPM（テンポ）、スウィングといった、音楽的な演奏ルールについての設定を行います。



①「ルールトラック」の表示設定

[キャンバスエリア]に[ルールトラック]を表示するかしないかを選択できます。

②調の設定

「調」を設定することができます。

設定した「調」は、以下に反映されます。

- [オトグラフ]では、設定した調の構成音の部分が薄い色で表示されます。
- [ファイルウィンドウ]から楽譜を書き出す際は、設定した調の楽譜となります。

※すでに打ち込んだ「ノート」がある場合、調を変更しても「ノート」は移動（移調）しません。

③拍子の設定

【◀】【▶】をタップすると、分子/分母それぞれの数字を設定することができます。

〈設定できる「拍子」〉は次のとおりです。

●分子：1、2、3、4、5、6

●分母：2、4、8

④BPM(テンポ)の設定

【スライダー】を使って数値を設定します。

【▲】【▼】をタップすると、1ずつ値を設定することができます。

【タップボタン】を4回タップすると、その平均の速さを検出して数値を設定します。

⑤スウィングの設定

【スライダー】を使って数値を設定します。

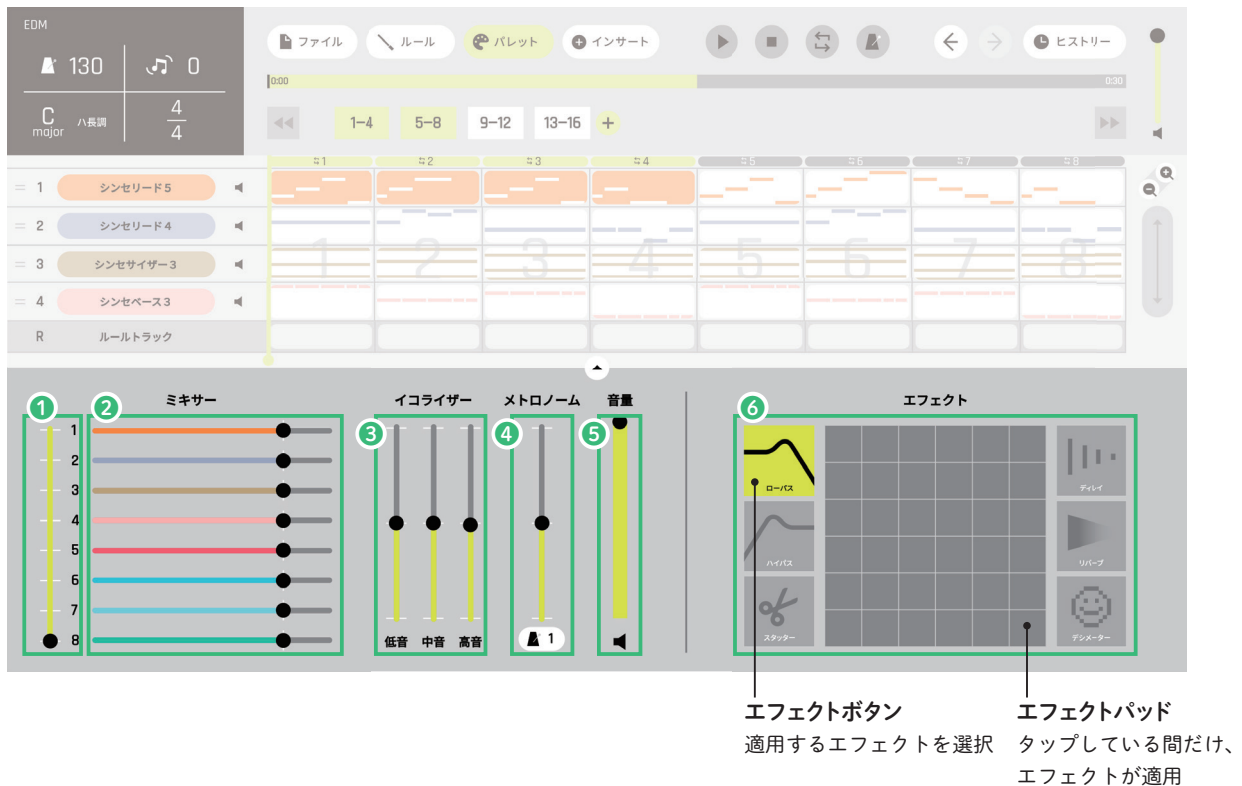
【▲】【▼】をタップすると、1ずつ数値を設定することができます。

数値を「33」の白線付近に設定すると、3連符のスウィングに近づきます。

【8分音符/16分音符ボタン】をタップすると、スウィングの対象を変更することができます。

パレット画面 全体図

[パレット画面]では、曲全体の音量バランスやエフェクトについての設定を行います。



①トラック数設定スライダー

目盛りを上下することで、使用するトラックの数を設定できます。

②トラックミキサー

それぞれのトラックの音量を、調整することができます。

③イコライザー

曲を再生する際の音について、「低音域」「中音域」「高音域」それぞれの音域の音量バランスを設定できます。

④メトロノーム

メトロノームの音量を設定します。
その下の【メトロノーム音色ボタン】をタップすることで、メトロノームの音色を設定します。

⑤音量

曲を再生する際の曲全体の音量を設定します。
[セッティングエリア]右端の【ボリュームコントロールローラー】と連動します。

⑥エフェクト

【エフェクトパッド】をタップしたままにすることで、曲全体にエフェクト（音響効果）をかけることができます。

※エフェクトは、音源（.mp3）で書き出すときには反映されません。

2 基本的な打ち込み方法（旋律）

ここでは「春が来た」を例に、カトカトーンの基本的な操作方法について解説していきます。

春が来た

文部省唱歌／高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲



まずはタイトル画面で【新しく音楽をつくる】をタップし、[楽器選択画面]で旋律を鳴らしたい楽器を選択します。

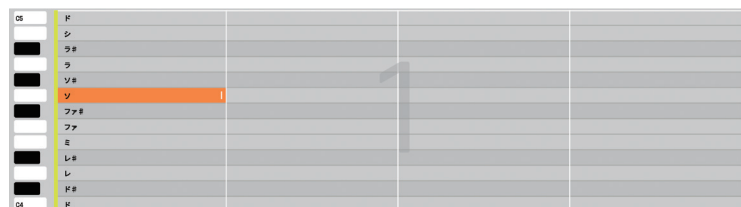
ここでは「ピアノ」を選択します。

《1小節目》

[メイン画面]で、[オトグラフ]に旋律を打ち込んでいきます。

※最初は[キャンバスエリア]1トラック目の1小節目がアクティブになった状態で開きます。[オトグラフ]上でマスをタップすると、タップした位置に「ノート（音）」が打ち込まれます。

1拍目の「ソ」の位置をタップしてノートを打ち込みます。



初期状態の[オトグラフ]は、1マスが4分音符の長さに設定されているので、この場合、1拍目に4分音符の「ソ」が打ち込まれたことになります。

2拍目は、[おたまチョップボタン]（次ページ参照）を【8分音符】に切り替え、8分音符の「ミ」「ファ」を打ち込みます。

おたまチョップボタン

画面下部の【おたまチョップボタン】をタップすると、打ち込める「ノート」の長さを変えることができます。

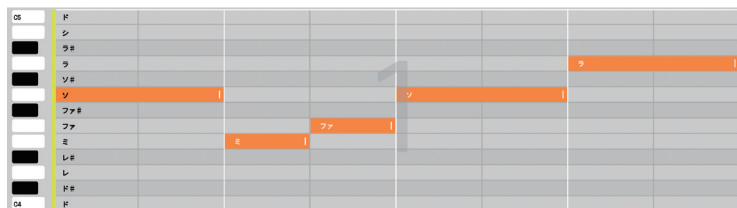


3 拍目は、4 分音符の「ソ」ですが、[おたまチョップボタン] は [8 分音符] のまま、【ソ】をタップしたまま右にドラッグし、「ノート」を 4 分音符の長さにします。【おたまチョップボタン】を 4 分音符に切り替えて打ち込むこともできます。

4 拍目「ラ」も同様に打ち込みます。



打ち込みが完成すると、次のような状態になります。画面上部の【再生ボタン】▶ をタップして、再生してみましょう。



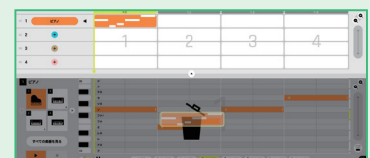
《2小節目》

ここでは、1 小節目の「ルーム」を 2 小節目にドラッグ&ドロップで「コピー」して、編集します。

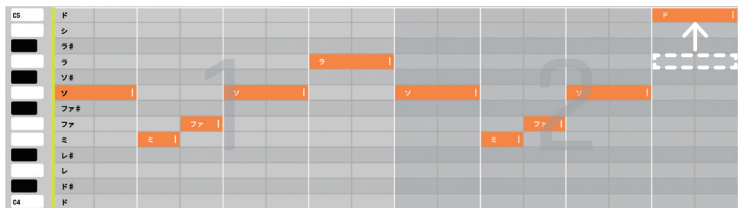


「コピー」できたら、2 小節目の【ルーム】をタップすると、[オトグラフ] が 2 小節分表示されます。

[ルーム] をドラッグした際、下段に表示される「ゴミ箱」にドロップすることで、その [ルーム] に打ち込まれた「ノート」を削除することができます (小節数は変更されません)。



コピーした2小節目の4拍目「ラ」の【ノート】を、タップしたまま上にスライドして「ド」にします。これで2小節目が完成です。



《3・4小節目》

[キャンバスエリア] の【ルーム】をタップし、3・4小節目を表示させて、打ち込みます。

3小節目3拍目では「付点音符」が登場します。例えば付点4分音符は8分音符3つ分の長さなので、[おたまチョップボタン] が [8分音符] の状態で横3マス分の長さになるように打ち込みます。

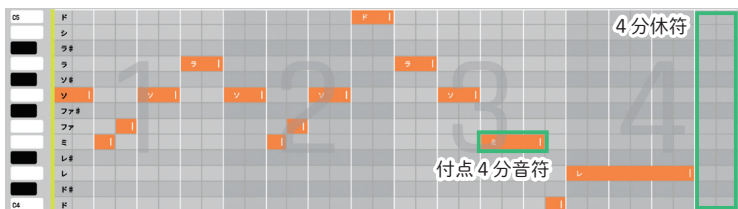


同じトラックの中で複数のルームを選択するには、いずれかのアクティブな[ルーム]とは別の【ルーム】をタップします。すると、その間にある複数の[ルーム]も含めて選択された状態になり、選択された範囲の「ノート」が[オートグラフ]に表示されます。

複数の[ルーム]が選択された状態で、いずれかのアクティブな【ルーム】をタップすると、タップした[ルーム]のみが選択された状態になります。この操作方法は【テトラボタン】でも同様です。

4小節目4拍目では「休符」が登場します。カトカトーンでは「休符」は打ち込みません。「ノート」を打ち込まない部分が休符（無音）になります。

打ち込みが完成すると、次のような状態になります。



《5～8小節目》

5～8小節目を打ち込むには、まず小節を増やす必要があります。

小節の増やし方

[テトラボタン] の【+】をタップし、[5-8] の [テトラボタン] を表示させ、曲を8小節にします。



[メイン画面] 上部の【インサートボタン】をタップして、任意の位置の小節を増減させることもできます。



打ち込む [オトグラフ] の選び方

[テトラボタン] の【5-8】タップすると、[1-4] [5-8] が選択され、[キャンバスエリア] に8小節分の [ルーム] が表示されます。その後、[キャンバスエリア] で5小節目の [ルーム] を選択し、打ち込みます。

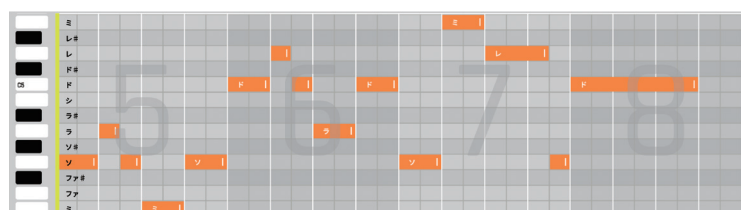
高い音・低い音の打ち込み方

6小節目では、表示されている「ド〜ド」の音域よりも高い「レ」を打ち込みます。

[オトグラフ] 右の【上下スライダー】の部分のスライドさせ、表示される音域を変更して、高い音を表示させます。

[上下スライダー] の上の【+/-】で、表示する音域のサイズを変更できます。

5〜8小節目の打ち込みが完成すると、次のような状態になります。

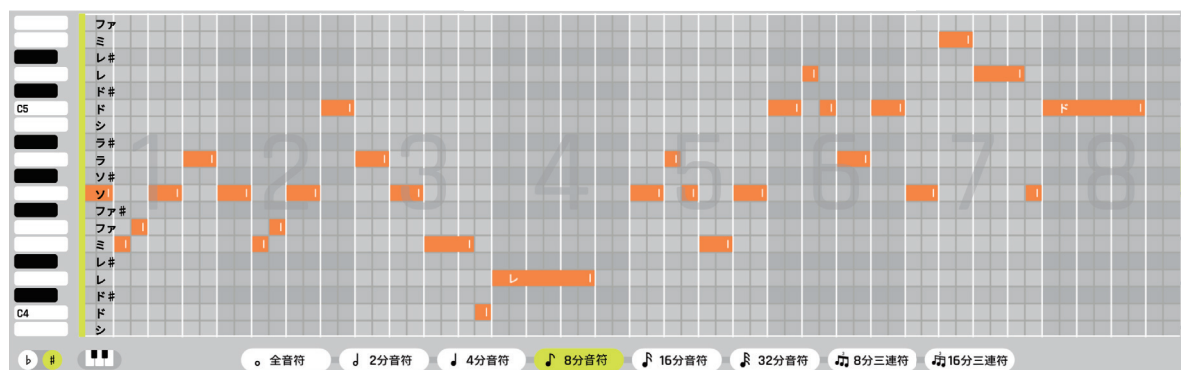


これで、「春が来た」の旋律の打ち込みが完了しました。

打ち込んだ内容の全体を表示するには、[キャンバスエリア] の1〜8小節目が選択された状態にします。

画面上部の【再生ボタン】▶をタップして、再生してみましょう。

【停止ボタン】を2回連続でタップすると、再生ヘッドが1小節目に戻ります。



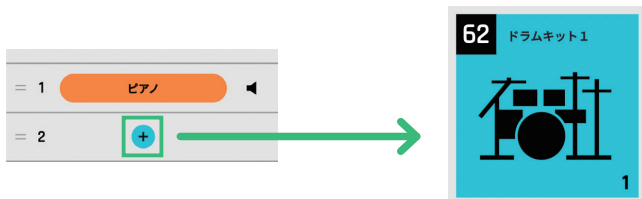
3 基本的な打ち込み方法(ドラム・打楽器)

次に、「春が来た」にドラムを打ち込みます。

まずは、[キャンバスエリア] 2トラック目の[楽器名ボタン]の【+】をタップして、2トラック目の楽器を選択します。

ここでは[ドラム・打楽器] カテゴリーから、「ドラムキット 1」を選択します。

一度楽器を決定しても楽器名(ここではトラック1の「ピアノ」)をタップすると、そのトラックの楽器を変更することができます。



1トラック目と同様に[オトグラフ]に「ノート」を打ち込みます。ここでは例として、まずは「おたまチョップボタン」を【8分音符】に切り替え、1小節目に次のリズムを打ち込みます。

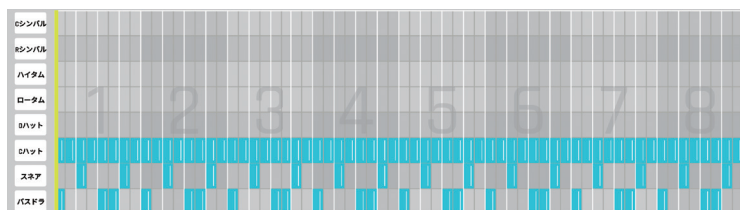
打楽器では、1トラックにつき8つの音色(楽器)を打ち込むことができます。



打ち込んだら、再生してリズムの雰囲気を確かめてみましょう。

この方法で2～8小節目を打ち込んでみてもよいですが、打楽器の打ち込みでは、コピー&ペーストを活用すると効率的です。

ここでは、1小節目を打ち込み、2～8小節の[ルーム]に[コピー]します。



これで8小節分のドラムの打ち込みが完成しました。

最初から再生して曲全体の雰囲気を確かめてみましょう。

さらにドラムを少しアレンジしてみます。

1・4・5・8小節目を次のように変更しました。

最初から再生して曲全体の雰囲気確かめてみましょう。

1 小節目

	月	火	水	木	金	土	日	計
ロシアンル								
ポニッシュ								
ハイタム								
ロータム								
ヨハット								
コハット								
スネア								
バスドラ								

4・5小節目

[illegible]

8 小節目

[illegible]

カトカトーンの基本的な打ち込み方法は以上です。

最初はとまどうかもしれませんが、慣れるとスムーズに操作できるようになります。

また、ここでは触れませんでした。和音（コード）も打ち込むことができます。ここで制作した「春が来た」に、伴奏や低音楽器のトラックを追加しても面白いでしょう。

自分だけの「春が来た」を完成させてください。

4 保存と書き出し

完成した「春が来た」のデータを保存しましょう。

画面上部の【ファイルボタン】から「ファイルウィンドウ」を開きます。



- ①【曲名バー】に曲名を入力します。
- ②【ファイル】をタップすると、使用している端末に「ktk ファイル」が保存されます。
- ③【音】をタップすると、音源ファイルがmp3形式で書き出されます。音楽アプリなどで再生できます。
- ④【楽譜】をタップすると、楽譜ファイルがPDF形式で書き出されます。画面に楽譜を表示し、紙に印刷できます。
- ⑤【ミディ】をタップすると、MIDI ファイルが書き出されます。MIDI ファイルは、他の音楽編集ソフトに読み込ませることができます。

打ち込んだ画面を、端末のスクリーンショットや画面録画機能を使って記録することもできます。

ktk ファイルとは…

「カトカトーン」で制作した曲のデータが記録されたファイルで、独自の拡張子(.ktk)で保存されます。

書き出した楽譜をカトカトーンで編集することはできません。楽譜の調は[ルール]で設定した調が反映されます。

MIDI ファイルは「カトカトーン」では読み込めません。

5 ktkファイルを読み込む

保存した「ktkファイル」は、[タイトル画面] の【ファイルを開く】または [ファイルウィンドウ] の【この曲をとじて別のファイルを開く】から読み込むことができます。

メイン画面からタイトル画面に戻るには、ブラウザの再読み込み（更新）ボタンを押して、再読み込みしてください。



このようにして、制作の続きを行うことができます。

子どもが制作した「ktkファイル」など、自分でつくった曲以外のファイルも読み込むことができます。

ファイルを保存する際の注意点！

「カトカトーン」では、制作中のデータは自動で保存されません。こまめに「ktkファイル」を保存してください。

Webブラウザの設定にもよりますが、同じ曲でも、保存するたびに別のデータとして保存されます。保存されたファイルは上書きされないので、ファイルの名前を変えるなどして整理してください。

ファイルの保存先について

ファイルの保存先は、Webブラウザのダウンロード保存先の設定によります。

Google Chromeの場合、初期設定では、「ダウンロード」フォルダに保存されています。

保存先を変更したり、毎回指定したりする場合は、Webブラウザの設定を変更してください。

6 オトグラフに表示する音を設定する

「カトカトーン」では、[オトグラフ] に表示する音を減らすことができます。ここでは、白鍵盤「ドレミファソラシ」のみを表示する方法を紹介します。

画面左下の鍵盤アイコン【オトグラフ表示音設定ボタン】 をタップし、[オトグラフに表示する音の設定]ウィンドウを開きます。



ここで任意の音を選択することで、[オトグラフ] に表示する音を設定することができます。今回は「ドレミファソラシ」のみを表示させたいため、黒鍵盤を全て選択し（選択すると黒鍵盤に取り消し線が表示されます）、そのまま【決定】をタップします。

すると、[オトグラフ] に白鍵盤のみが表示されるようになります。

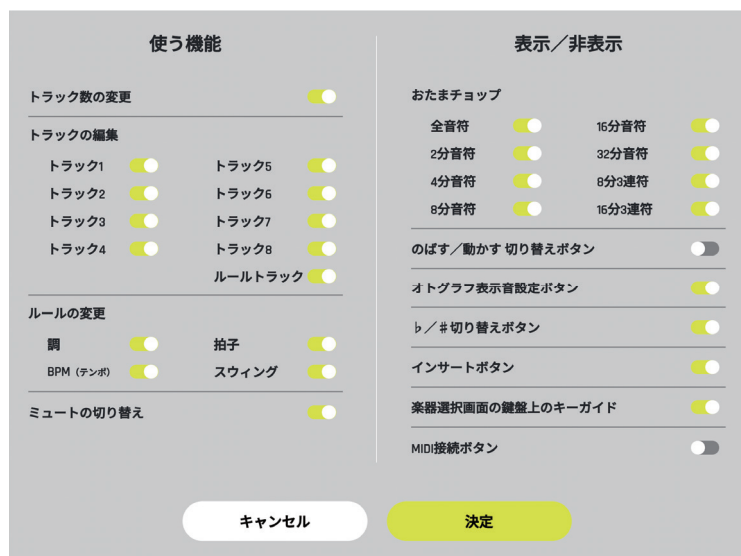
本機能は、[オトグラフ] に表示する音の表示/非表示を設定する機能です。既に「ノート」を打ち込んだ状態で、その音を非表示にした場合、打ち込まれた「ノート」は見えなくなりますが、消えることはなく、再生すると音が鳴ります。



7 機能制限

カトカトーンでは、[機能制限管理画面] により、音楽をつくる際に使う機能やボタンの表示/非表示を管理することができます。

メイン画面上部の【ルールボタン】から [ルール画面]を開き、右端の【機能制限ボタン】 をタップします。確認画面が出るので、【はい】をタップすると、[機能制限管理画面] が開きます。



使う機能		表示/非表示	
トラック数の変更		おたまチョップ	
トラックの編集		全音符	16分音符
トラック1	トラック5	2分音符	32分音符
トラック2	トラック6	4分音符	8分3連符
トラック3	トラック7	8分音符	16分3連符
トラック4	トラック8	のばす/動かす切り替えボタン	
ルールトラック		オトグラフ表示音設定ボタン	
ルールの変更		b/＃切り替えボタン	
調	拍子	インサートボタン	
BPM (テンポ)	スウィング	楽器選択画面の鍵盤上のキーガイド	
ミュートの切り替え		MIDI接続ボタン	

ここでは、既に制作した「春が来た」をもとに、トラック2の編集を不可にし、[おたまチョップボタン] を [4分音符] と [8分音符] のみに制限する方法を紹介します。

[機能制限管理画面] 左側の [トラックの編集] の [トラック2] 横の【ON/OFF】ボタンをタップし、OFFにします。

次に画面右側の [おたまチョップ] の [4分音符] と [8分音符] 以外の全てをOFFにします。



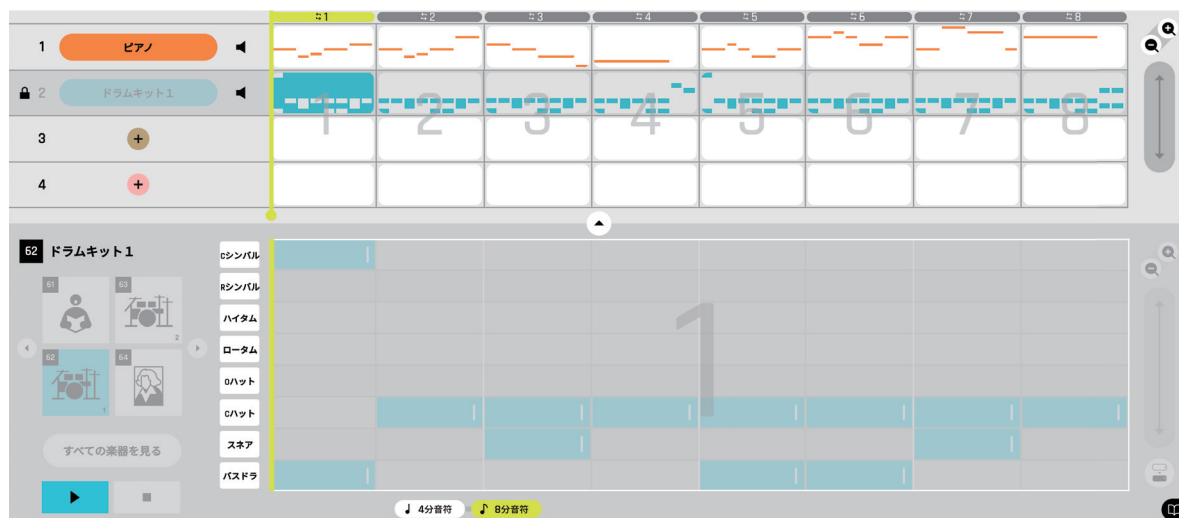
トラックの編集	
トラック1	トラック5
トラック2	トラック6
トラック3	トラック7
トラック4	トラック8
ルールトラック	



おたまチョップ	
全音符	16分音符
2分音符	32分音符
4分音符	8分3連符
8分音符	16分3連符

全ての変更が確認できたら、【決定】をタップします。

この状態で [メイン画面] を開くと、[キャンバスエリア] のトラック2がロックされ、編集が不可能になっています。また、[おたまチョップボタン] の表示が [4分音符] と [8分音符] のみになっています。



他の項目についても、同様の操作で機能を制限することができます。これらの機能を制限した状態でktkファイルを保存すると、制限されたこの状態も保存されます。

あらかじめ機能を制限したktkファイルを用意して子どもに配布することで、スムーズに学習を進めることができます。

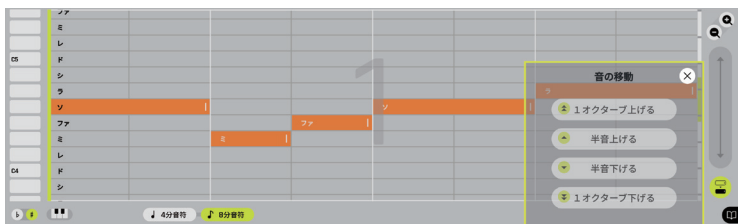
8 その他の機能

音の移動ボタン（旋律楽器のみ）

打ち込んだ「ノート」の音の高さを移動することができます。

〔メイン画面〕右下の【音の移動ボタン】をタップすると、〔音の移動ウィンドウ〕が開きます。ここから、〔オトグラフ〕に表示されている範囲の「ルーム」の「ノート」の音の高さを半音単位または1オクターブ単位でまとめて移動することができます。

〔オトグラフ〕に表示されている「ノート」が移動の対象となります。
トラック全体の音を移動したい場合は、トラックの「ルーム」を全選択した状態で、音を移動します。



ループ再生

各小節の上端にある【ループバー】をタップすると、選択した部分が黄色く点灯し、ループ再生の範囲を指定できます。

ループ範囲の指定後、〔セッティングエリア〕にある【ループボタン】をONにしてから【再生ボタン】をタップすると、指定した範囲をループ再生します。

たとえば、次の画像は1～4小節間をループ再生する設定です。



ルールトラック（曲の途中でのルールの変更）

〔ルールトラック〕を表示させると、曲の途中で「調」「拍子」「BPM（テンポ）」「スウィング」の設定を変更できます。

まず、〔ルール画面〕左側の〔ルールトラック〕を【表示】に切り替えます（右図）。すると、〔キャンバスエリア〕の下部に〔ルールトラック〕が表示されます。

〔ルールトラック〕上の【ルーム】をタップすると、その小節からの〔ルール画面〕が開き、曲の途中から「調」「拍子」「BPM（テンポ）」「スウィング」の設定を変更することができます。

ルールトラック

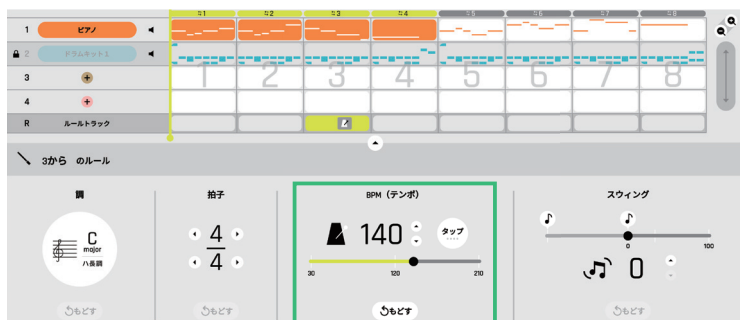
表示

非表示

楽譜で書き出す際は、〔ルール画面〕や〔ルールトラック〕で設定した調が反映されます。

設定を変更すると、変更を加えた項目についてのみ「ルールトラック」にアイコンが表示されます。

例えば、次の画像は3小節目でBPMを140に変更する設定です（元のBPMは120）。



設定を変更した後でも、別の画面に移動する前であれば、【もどすボタン】をタップすることで、変更前の設定に戻すことができます。この例では【もどすボタン】をタップすると、BPMは140から120に戻ります。

ルールを削除するには、「ルールトラック」にあるアイコンをドラッグして、下段に表示される「ゴミ箱」にドロップします。

表示サイズの変更

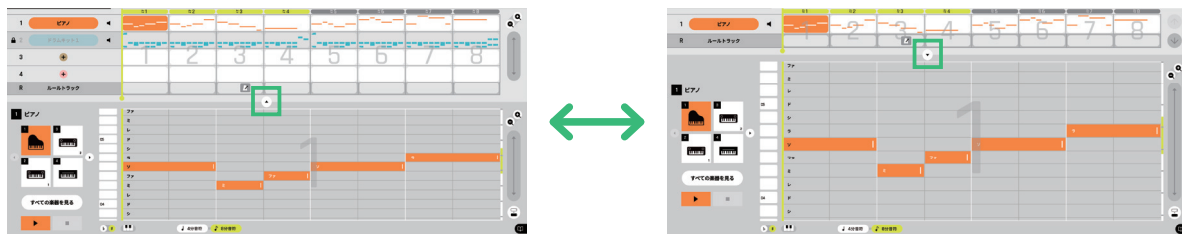
ルーペボタン

メイン画面右側にある【+/-】をタップすると、表示するトラックや音域のサイズを変更できます。



▲▼ボタン

「オトグラフエリア」を拡大/縮小することができます。拡大時の「キャンバスエリア」には、現在選択中のトラックが表示されます。



メトロノームボタン

「メイン画面」上部の【メトロノームボタン】をタップすると、ボタンが黄色く点灯します。この状態で再生すると再生中にメトロノームが鳴ようになります。止めたい場合、再び【メトロノームボタン】をタップします。



メトロノームの音色や音量は「パレット画面」で設定することができます。

操作をさかのぼる（戻る・進むボタン／履歴ボタン）

【戻るボタン [←]】をタップすると、ひとつ前の作業に戻ります。
【進むボタン [→]】をタップすると、【戻るボタン】で戻る前の状態に進みます。

【履歴ボタン】をタップすると [履歴ウィンドウ] が開き、これまでの作業を一覧からさかのぼることができます。さかのぼりたい作業をタップしてください。



[履歴ウィンドウ]では上から古い順に並んでいて、一番下が最新の作業となっています。

「ktk ファイル」には [履歴ウィンドウ] のデータは保存されません。そのため、「ktk ファイル」を読み込んだ場合は、[履歴ウィンドウ] には何も表示されません。

ミュートボタン

各トラックの [楽器名ボタン] の右にある【ミュートボタン】をタップすると、そのトラックの音をミュート（無音に）することができます。再度【ミュートボタン】をタップすると、ミュートは解除されます。

ミュートした状態で音の書き出しを行うと、そのトラックの音は書き出されません。

トラックの並び替え、ルーム表示の切り替え

各トラックの左端にある【=】を上下にドラッグ&ドロップすると、トラックの順番を並び替えることができます。

また、あるトラックの【ルーム】を選択した状態で、別のトラックの【=】をタップすると、タップした【=】があるトラックの [ルーム] の内容が、[オトグラフ] に表示されます。

オトグラフに表示された範囲を試し聴きする

【オトグラフ再生ボタン】をタップすると、[オトグラフ] に表示された [ルーム] だけをループ再生することができます。

この機能は、曲全体を再生する [セッティングエリア] の【再生・停止ボタン】とは別のもので、[オトグラフ] で編集集中の音だけをループ再生したいときに使います。



第2章 ICTを活用したカトカトーンの利用方法

データの共有

「カトカトーン」で制作したktkファイル(.ktk)や楽譜(.pdf)、音源(.mp3)は、学習支援ソフトウェアなどを活用することで他者と共有することができます。

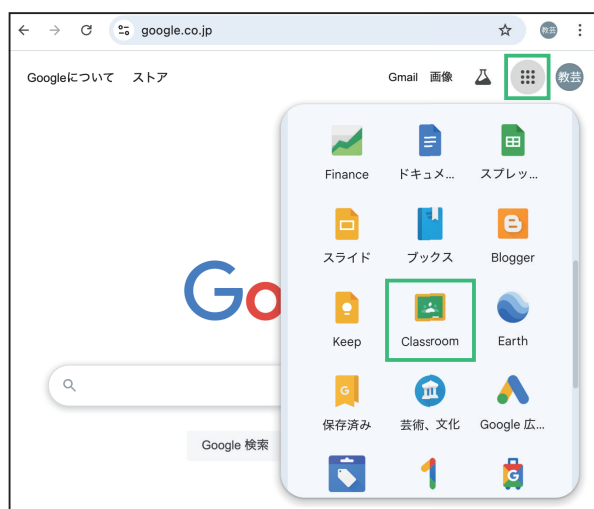
ここではGoogle Chrome (Webブラウザ)にて、Google Classroomを活用した方法を紹介します。

Google Classroom

Classroomではさまざまな方法でファイルを共有することができます。ここでは、その一例を紹介します。

まず教師の端末で、Google Chromeを開き、GoogleアカウントでChromeにログインします。

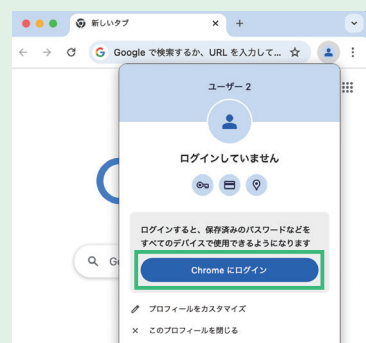
ログイン後、Classroomにアクセスします。



学習支援ソフトウェアによっては、「ktkファイル」の共有に対応していないものもあります。

iPadの場合は、Google Classroomのアプリを使用すると便利です。アプリ内では本書に掲載の画像とは画面のデザインが異なりますが、手順としては同様です。

ログイン画面が表示される場合は、Googleアカウントでログインしてください。Googleアカウントを未作成の場合はアカウントを作成する必要があります。



Classroomにアクセスすると、次のような画面に遷移します。クラスを作成していない場合は、【クラスを作成】をタップします。その際に、「Classroomを学校で生徒とともに利用しますか?」という表示が出る場合は、内容を理解したうえで【続行】をタップし、クラスを作成します。



クラスを作成すると、次のような画面に遷移します。
今回は、画面上部の「ストリーム」タブと「授業」タブを使用します。



一方、子どもの端末では【クラスに参加】を選択します。
クラスにアクセスすることで、データを共有することができます。



教師から子どもへデータを共有する場合

例として、「ktkファイル」を共有します。
クラスのトップ画面上部の【授業】タブをタップします。
画面上部の **+ 作成** をタップして【課題】を選択します。

画面が切り替わったら、「タイトル」と「課題の詳細」をテキストで入力します。

「添付」の中の【アップロード】ボタン  をタップします。
次のような画面が表示されるので、【参照】ボタンをタップし、アップロードしたい端末内の「ktk ファイル」を選択します。ファイルをドラッグ&ドロップすることでもアップロード可能です。

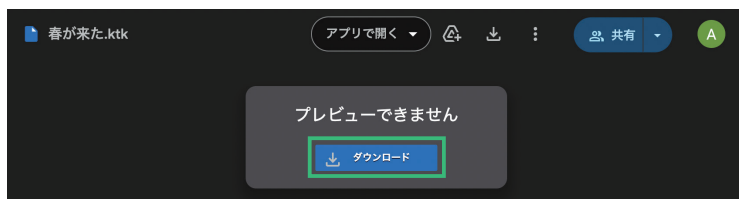
Googleドライブにアップロードされたファイルを共有する際は、【ドライブ】 からファイルを選択します。



添付が完了したら、画面右上の【割り当て】をタップします。
これで子どもに課題と添付ファイルが共有されました。

Googleドライブで共有したリンク (URL) は、【リンク】ボタン  から追加することができます。

ここで添付ファイルの「春が来た.ktk」をタップすると、ダウンロード画面に遷移します。



中央の【ダウンロード】ボタンをタップすると、ダウンロードが開始されます。完了すると、次のGoogle Chrome画面右上の📶 ボタンからダウンロード内容を確認できます（Windowsの場合）。



さらに、📶 ボタンをタップすると、保存先を開くことができます。端末のどこに保存されているのかわからなくなった際に活用すると便利です。



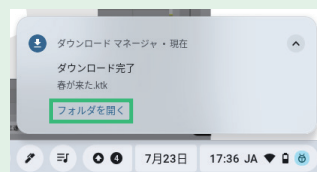
これで子どもの端末に「ktk ファイル」がダウンロードされました。同様にPDFデータやmp3データなども共有できます。

データの保存先について

Chromebookの場合

ダウンロードが完了すると、画面右下に「ダウンロード マネージャ」が表示されます。

【フォルダを開く】をタップすると、ダウンロードされた保存先を開くことができます。



画面右下の📶 ボタンをタップしても、「ダウンロード マネージャ」が表示されます。



iPadの場合

「フォルダ」アプリ内の指定された場所に保存されています（Web ブラウザの設定によります）。



ダウンロードした「ktk ファイル」をカトカトーンで読み込むには、P15「ktk ファイルを読み込む」を参照してください。

子どもから教師へデータを共有する場合

ここでは、作成された「課題」に対して「ktkファイル」を教師に提出する方法を紹介します。

子どものアカウントで、クラスにアクセスし、[ストリーム] タブ内に表示されている課題を開きます（[授業] タブからも該当する課題を開くことができます）。

課題を未作成の場合は、P23を参照して、事前に課題を作成する必要があります。課題を作成するだけであれば、教師が課題にファイルを添付する必要はありません。



画面右上の【追加または作成】から【ファイル】をタップします。ファイル選択画面が表示されるので、教師に提出するファイルを選択します。

【追加または作成】ボタンから、「ktkファイル」以外のファイルも同時に添付することができます。



ファイルを添付後に【提出】ボタンをタップすると、確認画面が表示されるので、さらに【提出】をタップします。

あなたの課題 割り当て済み

春が来た_子どもA....
バイナリ

+ 追加または作成

提出

課題を提出

「課題A」の添付ファイル 1 件を送信します。

春が来た_子どもA.ktk

キャンセル 提出

次に、先生のアカウントで、子どもから提出されたファイルを確認します。

「授業」タブ内の課題を開き、【課題を確認する】をタップすると、提出された課題の内容が表示されます。

ストリーム

授業

メンバー

採点

+ 作成

課題A

投稿日: 18:03

期限なし

カトカトーンでおながくをききましょう。

1

提出済み

0

割り当て済み

春が来た.ktk

バイナリ

手順を表示

課題を確認する

画面上部から子ども（アカウント）ごとに表示を変更できます。

【ダウンロード】から添付ファイルをダウンロードできます。

課題A

A 子どもA

提出済み

返却

春が来た_子どもA.ktk

ダウンロード

プレビューできません

ダウンロード

ファイル

提出日時: 2月6日 15:17

履歴を表示

春が来た_子どもA.ktk

成績

/100

限定公開のコメント

限定公開コメントを追...

投稿

提出されたものに対してコメントをする場合は、画面右の「限定公開のコメント」を入力し【投稿】をタップすると、その内容が子どものアカウントへ届きます。

ここで紹介した方法以外にも学習支援ソフトウェアを活用することで「ktkファイル」を共有することができます。学校の環境に合わせて共有方法を検討するとよいでしょう。

学習支援ソフトウェアによっては、「ktkファイル」の共有に対応していないものもあります。

端末本体の機能の活用

カトカトーンで制作した内容をスクリーンショットして画像にしたり、画面録画して動画にしたりして、学習支援ソフトウェアで共有することも有効です。

教育芸術社のWebサイトにChromebook、Windows、iPadでのスクリーンショットと画面録画の操作マニュアルが掲載されています。詳しい操作手順はこちらをご確認ください。

「スクリーンショット」「画面録画」
操作マニュアル（PDF）
教育芸術社 Web サイト



タップ または 読み取り

各種資料

マニュアル・解説ビデオ

教育芸術社のWebサイトにカトカトーンのマニュアルが2種類掲載されています。

また、YouTubeにカトカトーンの基本的な操作方法をまとめた解説ビデオをアップロードしています。

タップ または 読み取り

かんたんマニュアル

すぐにカトカトーンを使い始められるような簡単な内容をまとめたマニュアルです。



かんたんマニュアル
(PDF)

詳細マニュアル

カトカトーンの全ての機能を解説したマニュアルです。



詳細マニュアル
(PDF)

解説ビデオ

カトカトーンの基本的な操作方法を映像と音声で解説しています。



解説ビデオ
(YouTube)

よくあるご質問

教育芸術社のWebサイトに、カトカトーンに関する「よくあるご質問」を以下のカテゴリ別にまとめています。



よくあるご質問

全般、アクセス、動作環境、操作、保存・共有、実践、仕様、著作権、エラーメッセージ、トラブル

ktkファイルの販売・配布

教芸WEB STOREでは、すでに楽曲が打ち込まれたktkファイルを販売しています。

また一部楽曲は、「サンプルktkファイル」にて無料配布しています。
このktkファイルをカトカトーンで読み込むことで、楽曲を一から打ち込む手間が省けます。



教芸WEB STORE



サンプルktkファイル

カトカトーンガイドブック

導入編

2025年8月20日 第1版発行

編著者 教芸 KTK 開発グループ

発行者 株式会社 教育芸術社（代表者 市川かおり）

〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-14

電話 03-3957-1175（代表） 03-3957-1177（販売部直通）

<https://www.kyogei.co.jp/>

表紙・本文デザイン 相馬敬徳（Rafters）

©2025 by KYOGEI Music Publishers.

本書を無断で複写・複製することは著作権法で禁じられています。

音楽の授業で使える！

カ	ト	カ	ト	ー	ン
ガ	イ	ド	ブ	ツ	ク
			導	入	編